

300号
記念特集

広報やまゆりの25年

これからもずっとあなたのそばに

広報やまゆりは今月号で



号を迎えました

「広報やまゆり」は、今月号で300回目の発行となりました。町の発展と成長の軌跡を残しながら、町政に関する情報の他、生活に役立つ情報、町の出来事など、さまざまな情報を発信してきました。今回の特集は、「広報やまゆり」の歴史を振り返り、普段何気なく見ている広報紙のことをもっと知ってもらえたらと思い特集を企画しました。今後とも「広報やまゆり」をよろしく願います。

「広報やまゆり」がらぎんぐまほ

①取材

町で開催するイベントや保育園、幼稚園、小中学校などで行われる行事へ取材に行きます。写真1枚で出来事を感じとれる撮影を心掛けています。



②企画・編集

役場内の各課や役場外の関係団体などから広報紙掲載依頼を元に、どの記事をどのように掲載するか紙面構成を決定し編集していきます。



③入稿

編集したすべてのデータを印刷会社に渡し、印刷仕上がりイメージを確認する試し刷りを行います。



「広報やまゆり」には 先輩もいます。

御代田町で初めての広報紙は、昭和31年10月に発行された「御代田町時報」です。

この「御代田町時報」は御代田村、伍賀村、小沼村の3村が合併し御代田町が誕生した記念に作られました。この頃は、新聞紙と同じ大きさで、毎月10日に発行されていました。その後、昭和53年4月(257号)で「時報みよた」と名前を変え、平成3年6月(417号)まで発行されました。



「御代田町時報」創刊号



「時報みよた」最終号

「広報やまゆり」誕生

それまでの「時報みよた」に変わって平成3年7月25日に「広報やまゆり」8月号が創刊されました。

記念すべき創刊号の表紙は龍神まつりが飾り、迫力ある龍の躍動感をしっかりと捉えた1枚です。

創刊以来約25年間「広報やまゆり」は町の情報や話題を町民の皆さまへ提供してきたわけですが、その歴史を振り返ると現在の形に至るまでに紙面やデザインの見直しを図る一方で、多くの町民の皆さまが登場するコーナーも掲載しています。この背景には、読みやすさ、見やすさ、親しみやすさを追求して、一人でも多く皆さまに手にとって読んでもらえるようにと試行錯誤した歴代の編集者の思いがあります。



広報「やまゆり」創刊号

これからの広報の めざすもの

町づくりは行政だけが進めていくものではありません。町民一人ひとりが関心を持ち、行動していくことで、協働の町づくりが進められます。「広報やまゆり」は町民と行政を結ぶパイプ役でありたいと願っています。

パソコンや携帯電話が普及し、いつでも瞬時に世界中の情報が手に入る現代、御代田町でもホームページなどで町の事業や観光情報などを発信していますが、インターネットは、それを見ようと行動する人しか見られません。しかし、広報紙は基本的に直接ご家庭に配られているので、町政にあまり関心がない人にも手に取って読んでもらえる可能性があります。今の御代田町をより多くの皆さまに幅広く伝えることができるのはやはり広報紙なのです。

そこで、「あ、今月はあの人が載ってる」「このイベント楽しそう」などと、手に取ってくださった皆さまが楽しみを持ちつつ読み進められるような広報紙づくりを心がけていきます。

④校正

入稿したデータを印刷会社が試し刷りし広報主任などと校正作業(誤字脱字や内容の確認)をします。



⑤印刷

校了(校正が終了)して、最終データが印刷会社へ渡ること(後、印刷会社で印刷・製本されます。「広報やまゆり」は毎月5250部作成しています)。



⑥配布

役場職員が各区の区長のもとへ広報紙を届けて、各家庭への配布をお願いしています。

